

## HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY

MARCH 1-15, 2005

### NEW PRODUCTS

#### **日清ファルマ、高濃度水溶性CoQ10サプリメント「キューテンライフ」と「キューテンゼリー」を発売**

日清製粉グループの日清ファルマ株式会社は、水溶性コエンザイムQ10(以下アクアキューテン)を使用したサプリメント「Q10シリーズ」第3弾として、CoQ10をタブレット状にした「キューテンライフ」と、CoQ10機能性ゼリー飲料「キューテンゼリー」を、本年4月4日より、関東一都六県のドラッグストア・薬局薬店ルートに向け出荷を開始する。「キューテンゼリー」は、特に若い女性をメインのターゲットとした機能性ゼリー飲料タイプのサプリメントで、爽やかなグレープフルーツ味で、ダイエットにもうれしい低カロリーである。(3月1日 日清製粉グループプレスリリース [http://www.nisshin.com/company/release/details/050301\\_2.html](http://www.nisshin.com/company/release/details/050301_2.html))

#### **AGF オリゴ糖入りコーヒーの特保を発売**

AGF(味の素ゼネラルフーズ)は、約5年間をかけて開発したコーヒー豆由来のオリゴ糖(コーヒーオリゴ糖)を関与する成分とする特定保健用食品の「ブレンディ コーヒーオリゴ糖入り ボトルコーヒー750mL」を3月31日に発売する。ブレンディブランドは、約300億円のペットボトルホームサイズコーヒー市場で、50パーセント以上のトップシェアを持つ。(3月7日 AGFプレスリリース [http://www.agf.co.jp/6\\_about/6\\_1index.html](http://www.agf.co.jp/6_about/6_1index.html))



#### **UCC コーヒー生豆抽出物配合「Blackshot」は100gにクロロゲン酸類100mg**

UCC 上島珈琲は、3月28日に発売するコーヒー缶入り飲料「Blackshot(ブラックショット)」(1本100g)に含まれるクロロゲン酸類の量が約100mgであることを明らかにした。クロロゲン酸類のうち、クロロゲン酸そのものの含有量は約50mg。ネスレ ジャパン グループが2004年8月に発売した「ネスカフェ ボディ パートナー」と同等レベルだ。(3月8日 日経 FOOD・SCIENCE)



#### **江崎グリコ 子供向けバランス栄養食品を発売**

江崎グリコは、子供向けのバランス栄養食品「バランスオン フォーキッズ さっくりトースト」2品を新発売する。製品4枚あたりにビタミン(ビタミンA、B1、B2、D、Eの5種)、カルシウム、鉄分を1日に必要な量の1/3配合する。3月22日より近畿、北陸、愛三岐地区で発売、6月14日より関東甲信越、静岡地区で発売する。(3月10日 江崎グリコプレスリリース <http://www.ezaki-glico.com/release/20050310/index.html>)



### 伊藤園、豆乳入り果実飲料「豆乳と果実のラテ」を発売



株式会社伊藤園は、豆乳と果汁をミックスし飲みやすく仕上げた大豆イソフラボンを40mg含有する豆乳入り果実飲料「豆乳と果実のラテ」を3月7日より全国で販売する。(3月4日 伊藤園プレスリリース <http://www.itoen.co.jp/news/2005/030404.html>)

### カゴメ アンチエイジングのための新商品「ヨーグルケア コエンザイムQ10」新発売

カゴメ株式会社は、「女性のきれいを毎日サポート」する「ヨーグルケア」シリーズ(2004年8月発売)に「ヨーグルケアコエンザイムQ10」を追加、3月27日(日)より製造開始し、沖縄を除く全国で順次新発売する。老化防止成分として話題のコエンザイムQ10を配合、大人の女性のための付加価値型飲料を提案し、ユーザー拡大を狙う。(3月15日 カゴメプレスリリース <http://www.kagome.co.jp/news/2004/050315.html>)



### “遺伝子型ダイエット”を指導するフィットネスクラブがオープン

遺伝子のタイプに合わせて効果的なダイエット法を指導してくれる女性専用のフィットネスクラブ「ネクストボディ」(東京都港区)が3月3日、オープンした。入会すると、まず体形や食事の好みに関する問診表をもとに、スタッフが遺伝子タイプを判定する(遺伝子検査は別途3万1500円)。タイプ別にアレンジされたマシントレーニングやストレッチをこなす。遺伝子タイプに応じた食事指導もある。(3月4日 日経ヘルス)

## TECHNOLOGY UPDATES

### ファーマフーズ 卵黄に骨形成促進作用を発見、鶏卵抗体で化粧品応用も目指す

ファーマフーズは、ニワトリの卵黄の脱脂粉末をペプシンで分解した卵黄ペプチドに、骨形成促進作用があることを確認した。(3月10日 日経 FOOD・SCIENCE)

### 森永製菓、東大 ココアの抗肥満効果の機構解明に DNA マクロアレイで迫る

ココア最大手の森永製菓は、ココアが抗肥満作用を発揮する一連のメカニズムをDNAマイクロアレイで遺伝子発現解析した成果を、2005年3月29日に札幌市で開かれる日本農芸化学会のシンポジウム「食品研究とニュートリゲノミクス」で発表する。森永生科学研究所、東京大学大学院 ILSI 寄付講座との共同研究成果だ。(3月10日 日経 FOOD・SCIENCE)

## MARKET DATA

### 松谷化学 トクホの2割占める難デキ配合トクホが遂に 100 超、6月に年2万t体制

松谷化学工業の難消化性デキストリン(難デキ)を配合した厚生労働省許可トクホ(特定保健用食品)がついに 100 を超えた。2005 年 1 月 31 日現在で 483 商品許可・承認されているトクホの 20%強を占める。国内外の需要増に対応するため、米国工場の生産能力を 2005 年 6 月までに 2 倍に増強する。(3 月 4 日 日経 FOOD・SCIENCE)

### 青汁市場、600億円に到達 特保青汁が人気

2004 年の青汁市場は小売ベースで 600 億円に到達したことが、健康産業新聞の調査でわかった。(3 月 4 日 健康産業速報)

## COMPANY NEWS

### 太陽化学、緑茶カテキン素材12種を世界市場へ発売、中国合弁で生産

太陽化学は世界市場を対象の緑茶カテキン素材やエキスなど 12 種類の新製品を発売、3 年後に 50 億円の売り上げを目指す。(3 月 4 日 化学工業日報)

### 日清オイリオ、高機能食用油を輸出——米・中などで保健用申請

日清オイリオグループは 2005 年度から、体にコレステロールや脂肪がたまりにくいなどの機能を持つ高付加価値型の食用油の海外販売に乗り出す。米国、韓国、台湾、中国で機能性の高い保健用食品としての認定を取り、順次発売する。2010 年までに五億円超の売上高を目指す。家庭用と業務用の両方のルートで販売する計画。第一弾として米国で外食産業や加工食品製造向けの業務用食用油を販売する考えだ。その後、健康志向を重視する消費者が増えつつある韓国、台湾、中国と家庭で使う製品の拡販を図る。製品は横浜磯子事業所(横浜市)で生産して輸出する。(3 月 15 日 日経産業新聞)

## CONSUMER TRENDS

### ロート製薬 肌老化に関する消費者調査レポートを公開

ロート製薬が実施した女性消費者調査によると、女性は 5 年サイクルで肌の老化を感じ、約 7 割の女性は「手入れを頑張れば現状を維持できそう、老化を引き延ばせそう」と意欲を見せた。また、95%以上の回答者がアンチエイジングに興味を持つ。(3 月 10 日 ロート製薬プレスリリース)

## REGULATORY NEWS

### 厚生労働省、「健食に表示すべき事項」でガイドライン

厚生労働省は、健康食品の摂取量・摂取方法の表示に関する2月28日付の指針を都道府県などに送付した。昭和63年11月の通知を改定、健康食品に「表示すべきこと」の考え方を示した。(3月8日 健康産業速報)

### 人気のコエンザイム Q10、“ニセ薬”が出回る

滋賀県大津市の健康食品会社ニッショクが製造したコエンザイム Q10 含有食品「CoQ10」に、実際にはコエンザイム Q10 がほとんど含まれていなかったことが判明した。代わりに医薬品成分の「イデベノン」を含有していた。CoQ10 は和歌山県にある販売会社の美宝がニッショクに対して製造を委託した。イデベノンは脳代謝・精神症状改善薬として、1986年に医療用医薬品として承認されたが、1998年に承認が取り消されている。副作用には肝機能異常、精神神経症状、消化器症状などがある。滋賀県は3月4日、ニッショクに対して立ち入り調査を実施し、CoQ10の製造および販売の停止と、自主回収を指示した。(3月9日 日経ヘルス)

## MLM 企業ニュース

### ニュースキンジャパン 2004年度の売上微減、ファーマネックスラインの売上は増加

ニュースキンジャパンは1日、2004年度の売上は626億2100万円(前年対比97%)と微減した、と発表した。減収要因は、パーソナルケア製品が低調だったことや、リーダーディストリビューターの一部が中国に注力したものとしている。しかし、「栄養状態を簡単にチェックできるツール『ファーマネックスバイオフォトニックスキャナー』の導入により、健康食品『ファーマネックス』の売上は前年を上回った」。また、オンラインで申請できるディストリビューター登録サービス、JCB 決済など、新たなプログラムを導入したことで、アクティブディストリビューター数は約5%伸長した。(3月16日 健康産業新聞)

### シャクリー 2004年12月までの9ヶ月間の売上は170億円超へ増加

シャクリーグローバルグループは、2004年4月から9月までの9ヶ月間の売上は、対前年同期比121.7%の170億5,700万円だったと発表した。増収の主な要因は、2004年5月に米シャクリーコーポレーションを連結子会社として取得したためとする。同社は、「5年後には360億円の売上を目標」にし、会員数倍増やビジネスプランの見直しと、パーソナルケア商品のアイテム拡充、拡販活動拡大などに取り組むとしている。当面の施策としては、化粧品分野のリニューアルを進めており、シルク成分を配合したパーソナルケアブランド『JENA』や CoQ10 配合化粧品『エマルジョン Q』を発売する。(3月16日 健康産業新聞)



### タイチアンノニ 売上 5 億ドルへ増加

タイチアンノニインターナショナルは、2004 年 12 月期決算を発表、売上は対前年比 7% 増の 5 億ドルとなり、過去最高売上高を記録した。また、連続 8 期の前年同期比増を達成したと発表した。今後の施策として、国内ではアンテナショップ「タイチアンノニカフェ」の店舗数を大幅に増やし、北海道、名古屋、福岡などの主要都市にオフィスを開設し、地域密着型のノニジュース浸透を図る。また、ノニジュース以外の新製品投入にも注力する。(3 月 16 日 健康産業新聞)